

富山市における SE4All フォーラムの開催概要

1 概要

2014年9月にNYで開催された「国連気候サミット」において、富山市は、エネルギー効率改善都市に選定された。これを踏まえて、富山市は、SE4All、外務省、省エネルギーセンターと共催で、我が国においてSE4Allの活動及び富山市のエネルギー分野における取り組みを議論、広報するために、2015年10月28日、SE4Allフォーラムを開催した。また、会議終了後は、エネルギー分野の取り組みに向けた「富山宣言」が発表された。なお、SE4Allからは、モヒンダ・グラティ SE4All 最高執行責任者が出席の上、基調講演を行った。

日時：平成27年10月28日 水曜日 9:00～12:40

共催：国際連合 SE4All、外務省、富山市、一般財団法人省エネルギーセンター

参加者：約400名（約20カ国）

テーマ：「持続可能なエネルギーの実現に向けたネットワークの構築とベストプラクティスの創出」

2 内容

(1) オープニング

冒頭、モヒンダ・グラティ SE4All 最高執行責任者、森 雅志・富山市長、堀江 正彦・地球環境問題担当大使が挨拶を行った。

(2) モヒンダ・グラティ SE4All 最高執行責任者による基調講演

(テーマ：SE4Allの取り組み)

SE4Allの3つの目標であるエネルギーアクセス、エネルギー効率改善、再生可能エネルギーの普及を説明するとともに、それに向けたSE4Allの取り組み、持続可能な開発のための2030アジェンダとの関わりを説明。また、富山市の取り組み、省エネルギーセンターのハブとしての役割を触れつつ、ネットワーク作り、グローバル・パートナーシップの重要性を述べた。

(3) 全体セッション

全体セッションでは、「エネルギー効率改善都市の取り組み」と「エネルギー効率改善に向けた国や自治体、国際機関等の取り組み」に分けて議論され、エネルギー問題に取り組む、世界の各都市の取り組み（イスカンダー地域（マレーシア）、富山市、横浜市、ポートランド市（米））、成功事例を説明。また、金融機関として、アジア開発銀行の活動も報告された。同セッションでは、各国政府や民間企業等は、各々の権限の中で独自にエネルギー効率改善に向けた環境政策を実施しているところ、SE4Allの3つの目標達成のためには、エネルギー効率改善に向けた情報共有とともにネットワーク構築の重要性が主張された。

(4) パネルディスカッション：国際協力とマルチステークホルダー

エネルギーは、経済活動や日常生活を支える重要な役割を果たしており、各国政府や民間企業等では、各地域の実情に合ったエネルギー政策を展開しているが、各々が単独で施策を展開しているケースもあり、各々が協力して実施していくことが相乗効果を得ることにつながる。各国政府や民間企業等の連携、促進について議論した。

3 富山宣言の内容

国際連合 SE4All の活動の更なる普及に努めるとともに、「万人のための持続可能なエネルギー」を実現するため、国際連合 SE4All が掲げる目標の達成に向け、政府、地方自治体、国際機関、民間企業、研究機関等の全ての関係者とグローバル・パートナーシップを構築し、協力連携していくことを盛り込んだ「富山宣言」を発表した。